

【ネクストリーダー育成ワークショップ】  
「人間主体の価値づくりと強い事業づくり」

AIとの協働時代における  
新たなリーダー育成のカタチ！

2026 年度参加募集プログラム

人と AI の協働時代における**新しい思考プロセスと実践スキルの習得**により、**生産性向上／既存事業の強化／新製品・サービス創出**を牽引する新たなリーダーを育てる**類を見ない先駆的なプログラム**です。  
アイデア創出と意思決定のスピードを飛躍的に高めて、変化に俊敏に対応できるリーダーを育成します。

\* AI の活用法のみを学ぶ講座ではありません。

ビジネスの競争環境は AI の普及により大きく変化していますが、価値づくりと事業づくりに繋げることは容易ではありません。**人が担うべき役割と AI の強みを組み合わせて事業を牽引するリーダー**が求められています。

本プログラムでは、AI を単なるツールではなく**知的パートナー**として活用する、人と AI の協働時代のリーダーに求められる**戦略的思考と実践スキル**を習得できます。

【本プログラムがもたらす効果】

8 回のワークショップを通じて習得！

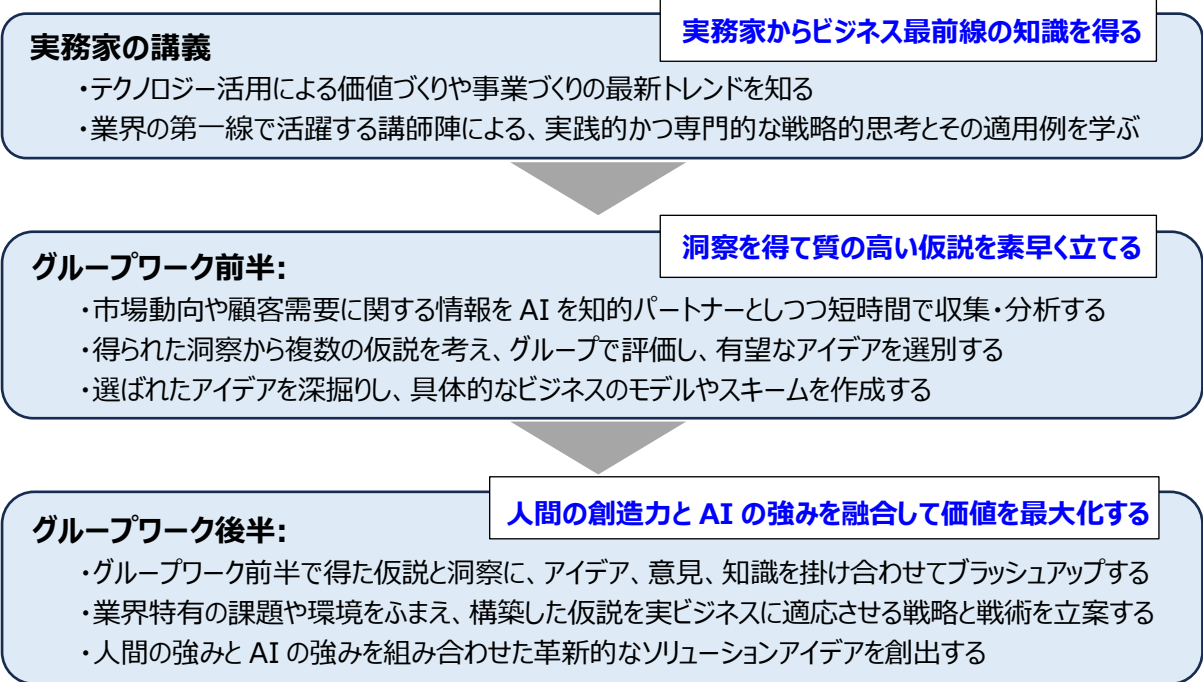
1. **人間の創造力と AI の強みとの融合**：人と AI の強みを融合し、価値を最大限引き出すスキルを習得できます。
2. **問いを立てる力、情報を目利きする力、質の高い仮説に仕立てる力**：リーダーに不可欠な 3 つのスキルを習得できます。
3. **仮説構築力と意思決定力**：講師の講義と、AI を知的パートナーに加えたアイデア創出を反復する他流試合の組合せで、スピーディーな仮説構築と意思決定を実現する戦略的思考と実践スキルを身につけられます。

【受講対象者】

- **技術系の方**（開発・研究・設計・製造・技術企画など）
- **事業系の方**（事業開発・研究開発・マーケティング・経営企画・営業など）

\* 主任、係長、課長クラスの参加が多いですが、ご関心ある方は役職・年齢に関係なく歓迎します。

【ワークショップの基本的な進め方】



プログラム（8回シリーズ）

<p>志・創造力</p>	<p>1回 〔8月25日〕</p>	<p><b>「AI時代のファシリテーション」～リーダーが『問い』を立てる意味～</b>  <b>黒田 聡</b> (株)情報システムエンジニアリング 代表取締役社長、大阪大学大学院工学研究科、医学系研究科、大阪大学健康スポーツ科学教育研究環、京都大学大学院医学研究科の実務家教員          [概要] これからのリーダーは AI と協働する組織を率いてどのように価値を生み出していくのか。AI 活用時代に求められるスキルと感性、陥りがちな失敗、コミュニケーションの勘所について事例を交えながら解説します。</p> <p><b>「『志』を形にする副操縦士としての最強の生成 AI 活用術」</b>  <b>長谷川 大貴</b> (株)ハイパーデジタルツイン COO、Proto Play 代表          [概要] AI、データ分析、生成 AI の導入などに関心はあるものの「AI の活用場面がわからない」、「費用対効果の出し方がわからない」、「データは蓄積しているがマネタイズに繋がらない」等の課題を抱える組織は少なくありません。講師の実績をもとに、モノづくりや新規事業に AI とデータを活かす方法と勘所を学びます。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	 
	<p>2回 〔9月15日〕</p>	<p><b>「実践！新価値創造の仕掛け学」～ヘトヘトからワクワクへの挑戦～</b>  <b>竹林 一</b> 大阪大学フォーサイト(株) エバンジェリスト、横浜市立大学大学院国際マネジメント研究科客員教授、麗澤大学特任教授、元 オムロン(株) イノベーション推進本部インキュベーションセンタ長          [概要] 不確実性の高い時代にいかに成長する事業を創るか。ワクワクする未来を創造する為の新たな価値づくり、実践的な仕掛けづくりの手法を学ぶとともに、実現に向けた人、組織、風土改革のポイントを共に考えていきます。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	
<p>変革力</p>	<p>3回 〔9月29日〕</p>	<p><b>「3D データ流通で乗り越える『デジタル家内制手工業』という呪縛」～サプライチェーン再構築を睨んだプロセスイノベーションへの挑戦～</b>  <b>鳥谷 浩志</b> ラティス・テクノロジー株式会社 代表取締役          [概要] 日本型 DX が陥りがちな「デジタル家内制手工業」の構造的課題を理解し、3D データ流通を軸に設計・製造・保守の生産性を革新するプロセスイノベーションを学ぶ。業務の属人化や分断を構造的に捉え直し、自社はもちろん、業界を横断するサプライチェーン全体の価値創出まで見据えた、業務プロセスのデジタル変革を構想・実践する力を養う。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	
<p>創造力</p>	<p>4回 〔10月15日〕</p>	<p><b>「AI時代に問われる「人間系」の技術移転」</b>          ～AIには代替できない、人間同士の泥臭い化学反応～  <b>西山 高浩</b> ローム(株) LSI 開発本部 先進技術開発担当 フェロー          [概要] IoT や 5G などの技術の発展に伴い、自動運転、産業用ロボット、ヘルスケアなどの分野に活用の期待が高まっているエッジ AI。デバイス側で推論と学習が可能な最先端の AI を搭載するチップ開発プロジェクトを牽引してきた経験に基づき、エッジ AI チップ技術の強み、その活用による付加価値づくりと新規事業開発、エコシステム構築による社会実装とビジネス変革に向けた取り組みを学びます。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	

判断力	5回 〔10月29日〕	<p><b>「技術とビジネスをつなぐリーダー像」</b>  <b>～ビジネス意思決定 AI における活用のリアルと不確実性下での意思決定力～</b>  藤原 弘将 (株)Laboro.AI 代表取締役 COO、CTO</p> <p>[概要] 「テクノロジー」と「ビジネス」をつなぐ設計思考、AI をビジネスの意思決定にどのように活用するか、活用した意思決定の AI が導き出した不確実な解を、経営層や現場がどのように解釈し、またリスクをどのように許容して意思決定すべきか、という「AI 時代のリーダー像」について学びます。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	
	6回 〔11月26日〕	<p><b>「新結合視点のイノベーション」</b>  <b>～技術縛りの事業開発の葛藤を克服する～</b>  米澤 航太郎 (株)eiicon Consulting 事業本部 Consulting Divison 1 MGR</p> <p>[概要] 自社の強い技術を核に未知の市場を切り拓く「プロダクトアウト」。技術を起点に参入領域を発想する方法、顧客セグメント/ペインを仮説立案するフレーム、共創パートナー探索と連携プロセスを解説し、「技術起点オープンイノベーション」を実現する具体ステップを学びます。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	
総合力	7回 〔12月14日〕	<p><b>「伸び続ける事業を生み出すリーダーのマインドと行動」</b>  <b>～経験知に学ぶ、壁を突破する要件～</b>  森岡 康一 AIBTRUST(株) 代表</p> <p>[概要] 技術の目利きからパーパスを起点とした仲間づくりまで、複数の組織で事業を開発し、現場実装を通じて組織の壁を突破してきました。事業のグロース、技術を活用した成長事業、勝てるエコシステム作り、マインドセットとアクションなど、数々の事業を形にしてきた経験に基づいて、変革リーダーの要諦を学びます。</p> <p><b>意見交換会（講師を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	
	8回 〔1月28日〕	<p><b>【グループ対抗ビジネスピッチ】</b>  <b>「〇〇〇〇で日常の『不』を克服するイノベティブでエクセレントなビジネスを生み出せ！」</b>  [概要] 「不」に着目し、創造的なアプローチで解決策をもたらす革新的なビジネスピッチを行います。これまでの学びと経験の集大成として、独創性、市場性、実現性、共感性などの審査項目をふまえ、各グループが練ったビジネスアイデアをピッチし、相互投票および過去の講師が審査員となり、各グループの審査・講評を行います。  * 投票及び審査により優秀賞などの各賞を決定・授与</p> <p><b>意見交換会（審査員を交えショートセッション・意見交換・ネットワーキング）</b></p>	
実践力			

## プログラム詳細

- 形式：対面開催（場所：大阪科学技術センター 会議室）
- 定員：先着 30 名 \* 定員に達し次第、締め切ります。
- 講義、グループワークで受講者の方には生成 AI を適宜使用頂きます。
- 各回終了後に意見交換会（講師を交えた意見交換・ショートセッション・ネットワーキング。飲食有り）を実施

## 講師紹介

回	講師	[敬称略]
1回	 <p><b>長谷川 大貴 [(株)ハイパーデジタルツイン COO、Proto Play 代表]</b>            京都大学工学研究科修了。2011年、東京電力にエンジニアとして入社し、震災直後の混乱の中緊急工事に従事。その後、経営コンサルティングファームのデロイトに入社、西日本企業の経営改革に注力。2018年、株式会社エクサウィザーズへ参画し、製造業、インフラ企業等西日本エリアにおけるデータ&amp;AI活用PJを多数リード。2021年4月～2023年3月は執行役員として、全社の事業拡大及びIPOを牽引。生成AIや最新AI技術のリサーチやプロダクト開発を経験。            現在は大学発ベンチャーハイパーデジタルツインでCOOとして勤務しながら、フリーランスでも活動中。</p>	
2回	 <p><b>竹林 一 [大阪大学フォーサイト(株) エバンジェリスト、横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科客員教授、麗澤大学特任教授、元 オムロン(株) イノベーション推進本部 インキュベーションセンタ長]</b>            立石電機（現オムロン）入社、流通・鉄道業界の大型プロジェクトPM、オムロンソフトウェア代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長、オムロン株式会社イノベーション推進本部シニアアドバイザー等を務めるとともに京都大学経営管理大学院にて新規事業開発の実践研究を実施。現在各社の社外取締役、各大学での教鞭を通じて新価値創造に向けた人材育成に注力中。</p>	
3回	 <p><b>鳥谷 浩志 [ラティス・テクノロジー株式会社 代表取締役]</b>            1983年東京大学理学部情報科学科卒業後、リコー・ソフトウェア研究所でソリッドカーネル「DESIGNBASE」の研究開発に従事。1997年ラティス・テクノロジー技術統括部長、1999年10月同社代表取締役社長に就任、現在に至る。「3Dで世界を変える」を信条に、製造業などでの3次元データ活用ソリューションとして、超軽量化3次元技術「XVL」の新たな用途開拓と市場開拓に挑んでいる。理学博士（東京大学）、東京理科大学上席特任教授</p>	
4回	 <p><b>西山 高浩 [ローム(株) LSI 開発本部 先進技術開発担当 フェロー]</b>            1995年に京都大学大学院工学研究科卒業後、住友電工に入社し、カーナビの開発に従事。2000年ロームに入社し、光ディスクドライブ用システムLSI開発や、WiFi用システムLSIおよびモジュール開発に従事。2020年より、CREST(国プロ)にてオンデバイス学習AIの研究を開始し、チップ開発及び事業化を牽引。CPUコア開発などの先行技術開発も行い、それらを活用した複数の新規プロジェクトの立ち上げを主導している。</p>	
5回	 <p><b>藤原 弘将 [(株)Laboro.AI 代表取締役 COO、CTO]</b>            2007年に産業技術総合研究所に入所。機械学習を用いた音声/音楽の自動理解の研究に従事。2011年～2012年の間、在外研究員としてQueen Mary University of London 客員研究員を兼任。2012年にボストンコンサルティンググループに入社し、ビッグデータ関連を中心に様々な業界・テーマのプロジェクトに従事。その後、AI系のスタートアップ企業を経て、2016年に株式会社Laboro.AIを創業。代表取締役CTOとして技術開発全般をリードする。</p>	
6回	 <p><b>米澤 航太郎 [(株)eiicon Consulting 事業本部 Consulting Divison 1 MGR]</b>            研究者としてB2C製品や半導体材料のR&amp;Dに従事後、企画・新規事業開発へ転向。コスモ石油、昭和電工マテリアルズ等で経営企画や事業開発に従事し、ディープテック系スタートアップマイクロ波化学ではカーボンニュートラル領域のオープンイノベーションや組織開発を主導した。現在はeiiconで大手企業の新規事業創出、アクセラレータープログラム、対話型イノベーションの企画から実行支援まで幅広く携わる。</p>	
7回	 <p><b>森岡 康一 [AIBTRUST(株) 代表]</b>            2000年に関西学院大学法学部を卒業後、インテリジェンスを経てヤフーに入社。2010年にFacebook日本副代表に就任し、SNSの国内普及を牽引した。2013年よりKDDIにて新規事業を担当し、翌年Supershipを設立。代表取締役として同社グループの成長を指揮した。2020年にヤフー（現LINEヤフー）へ再合流し、マーケティングやデータソリューション領域の統括本部長、生成AI推進本部長を歴任。2023年10月に退任後、同年12月にAIBTRUST株式会社を創業。</p>	

## ファシリテーター

**黒田 聡** ((株)情報システムエンジニアリング 代表取締役社長、大阪大学大学院、大阪大学健康スポーツ科学教育研究環、および京都大学大学院医学研究科の実務家教員。  
(一財)テクニカルコミュニケーター協会 評議員、公益活動企画会議議長))



東京生まれ。実務家として情報通信業を営む企業を経営する傍ら、テクニカルコミュニケーション技法の社会実装活動を展開。業界団体の創設にも関わり、本技術領域における日本の有識者として他国組織や有識者との交流も主導。

2018年度から2021年度に大阪大学 CO デザインセンターの招へい准教授として工学コミュニケーションの研究と育成に関与。京都大学大学院医学研究科の非常勤講師、大阪大学大学院医学系研究科の招へい研究員や招へい教員としてヘルソコミュニケーション、健康情報の知識化と構造化の研究に関わりながら高齢社会に適したコミュニケーション技法の研究と社会実装を推進。

2023年度から大阪大学大学院工学研究科の招へい准教授として、ビジネスエンジニアリングに関する研究と育成に従事する。構造化技法に関する技術者として著書多数(いずれも共著)。情報提供システムおよび情報提供方法関連特許を日本、米国、中国などで多数取得している発明家でもあり、近年は実績を背景としたインタープレナーとして、異分野の専門集団との共創によりウエルビーイングの実現を目指すデータ活用事業を推進。

本ワークショップでは、ワークショップ、グループワークなど全体をファシリテートする。

## AI アドバイザー

**長谷川 大貴** ((株)ハイパーデジタルツイン COO、Proto Play 代表)  
(略歴は、P.4 第1回の講師略歴ご参照)



本ワークショップの前半では、AI アドバイザーとして、AI ツールから質の高い回答を引き出すための問いの立て方、業務に即した価値ある情報を得るアプローチ、ビジネス開発の視点などのノウハウを、講義およびグループワークを通じて伝える。

## 基本的なスケジュール

\* 8回は13:00~17:30ですが進行が異なります

スケジュール	実施項目
(10:00~12:00)	オリエンテーション・ファシリテーションの基本の講義 *第1回のみ
13:00~13:15	チェックイン(ワークショップの進行・参加者間の自己紹介)
13:15~14:00	講義(前半) Q & A 5分含む
14:00~15:10	グループ討議①・発表・講師講評
15:10~15:15	振り返り
15:25~16:10	講義(後半) Q & A 5分含む
16:10~17:20	グループ討議②・発表・講師講評
17:20~17:30	振り返り
(17:30~19:00)	意見交換会(講師およびファシリテーターも参加)

## 参加費(税込) / 名

お早目のお申し込みがお得です!

参加費	超早割 [6/30迄のお申込み]	早割り [7/30迄のお申込み]	通常 [8/1以降]
会員種別			
賛助会員	298,000円	334,000円	360,000円
非賛助会員	348,000円	398,000円	432,000円

\* 各回ワークショップ後の意見交換会(飲食を伴う懇親会)の費用を含みます。  
\* 参加お申し込みを受け付け後、請求書をメールにて送付いたします。

### <意見交換会>

講師を招き講義の深堀りやショートセッション\*、Q&A、ネットワーキング

\* ショートセッション(10分程度)で話題提供を予定しているテーマ:

国家戦略/知財/プロジェクトを円滑に進めるテクニカルコミュニケーション技法/データと情報の違い/標準の重要性など。ファシリテーターよりカジュアルに話題提供し意見交換します。

## 受講者の声

- ✓ 生成 AI 活用で人とのギャップを埋める点、善し悪しを判断する人間の役割、人間力を高める点が学べた。
- ✓ 講師が良く、アイデア構想から製品化まで実践された経験や社内突破の話は貴重だった。
- ✓ 最終回のビジネスアイデアピッチが他社とのリアルな事業企画を体験できて有意義だった。
- ✓ 自身の仕事がお金になるのか？ は不安だったので、マネタイズ戦略が非常に勉強になった。
- ✓ 業務で生成 AI 使い倒すようになった。自分と AI 以外に他の人が絡むと新たな発想が生まれるのを感じた。
- ✓ バックグラウンドの異なる企業参加者との議論で異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓ 社内の新規取組みで、自らが先頭に立って、メンバーとディスカッションを進めるのに今回の経験が生きた。

### <これまでの参加企業>

(敬称略・五十音順・参加当時の社名)

朝日放送テレビ／荒川化学工業／エネゲート／FCM／大阪ガス／大阪ガスケミカル／大阪ガスマーケティング／大阪ソーダ／大阪冶金興業／大林組／沖電気工業／オリックス不動産／金井重要工業／カナデビア／カナカ／川崎重工業／関西電力／KANSO テクノス／関電 L&A／かんでんエンジニアリング／関電システムソリューションズ／関電パワーテック／近鉄グループホールディングス／きんでん／栗本鐵工所／KDC／神戸製鋼所／コニカミノルタ／最上インクス／堺化学工業／三信建築設計事務所／三洋化成工業／GS コアサ／JRC／ジェイテクト／島津製作所／島津ビジネスシステムズ／情報システムエンジニアリング／神鋼環境ソリューション／新コスモス電機／親和運輸／住友電気工業／積水インテグレートドリサーチ／積水化学工業／善友金属／ゼンユー／ソフトウェアエンジニアリング／Daigas ガスアンドパワーソリューション／大日本除虫菊／ダイセル／ダイヘン／太陽刷子／大和ハウス工業／タカラベルモント／タクマ／竹中工務店／椿本チエイン／TOA／東西化学産業／東洋紡／中井商工／中尾フィルター工業／ナルックス／日産化学／日本カタン／日本製鉄／日本ピラー工業／日本触媒／日本ネットワークサポート／日本バルカー工業／パナソニック／阪急阪神不動産／日立製作所／日立造船／富士インパルス／フジキン／プロト／古野電気／北海道住電スチールワイヤー／ホンダエンジニアリング／三菱電機／三ツワフロンテック／村田機械／メタウォーター／モリタ製作所／和歌山大学

## 参加申込書

**メール: [innovation@ostec.or.jp](mailto:innovation@ostec.or.jp)** (大阪科学技術センター 技術振興部 米田宛)

**申込締切日：2026年8月18日(月)まで**

\* 定員に達し次第、締切ります。グループワークの性格上、できるだけ同一の方が全回を通じてご参加ください。

機関名：		
所在地：〒		
TEL：( ) — FAX：( ) —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

\* 本件お問合せ (担当：米田、篠崎)：

[メール] [yoneda@ostec.or.jp](mailto:yoneda@ostec.or.jp) [k.shinozaki@ostec.or.jp](mailto:k.shinozaki@ostec.or.jp) [電話] 06-6443-5320

### 個人情報の取扱いについて

- ・本ワークショップへのお申込みにあたり、個人情報保護のため、(一財)大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。
  - ・ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業のご案内以外には使用しません。
- 個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。